令和7年渇水における長井ダムの効果　＜最上川ダム統合管理事務所＞

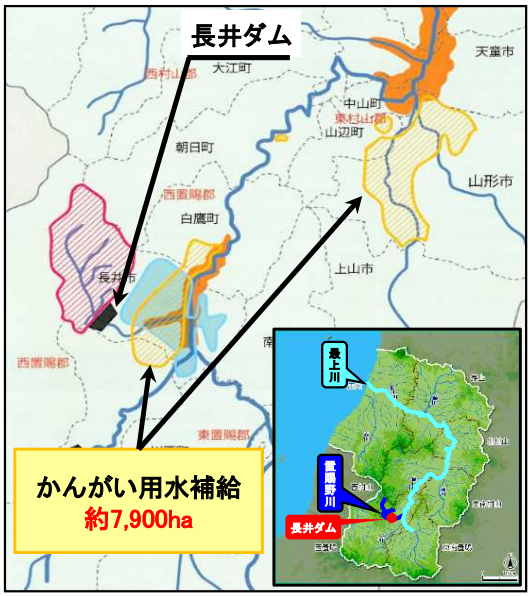
◆長井ダム流域の6～7月降雨量は、**H23（2011）年管理開始以降の平均※1に対して約29%**と少なく、特に**7月は管理開始以降の最少値となる11mm/月（平均※1に対して約3%）を記録**。

◆少雨の影響により、長井ダムへの流入量が減少し、**8月5日には今期最低の貯水位EL348．38m（貯水率42．4%）**まで**低下**。

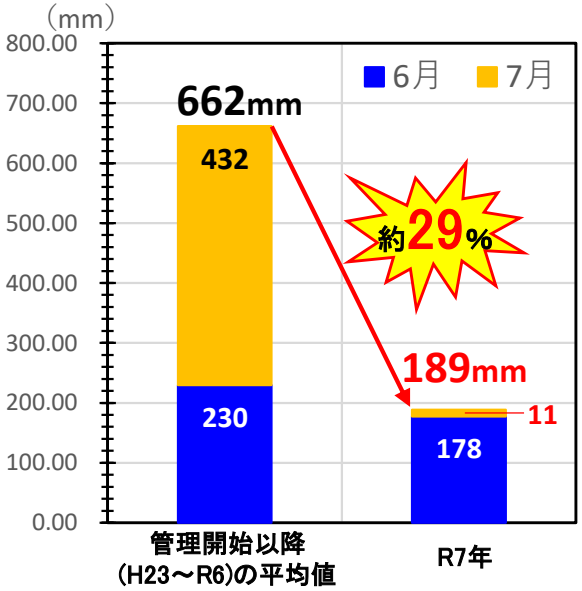
◆かんがい用水、水道用水、河川維持用水の安定供給のため**多様な関係者との調整・連携**により、**6月下旬～8月上旬で総量約1，230万立方メートル（東京ドーム約10杯分）の利水補給を実施**。

※1　管理開始以降14ヶ年(H23～R6)の6・7月における流域降雨量の平均

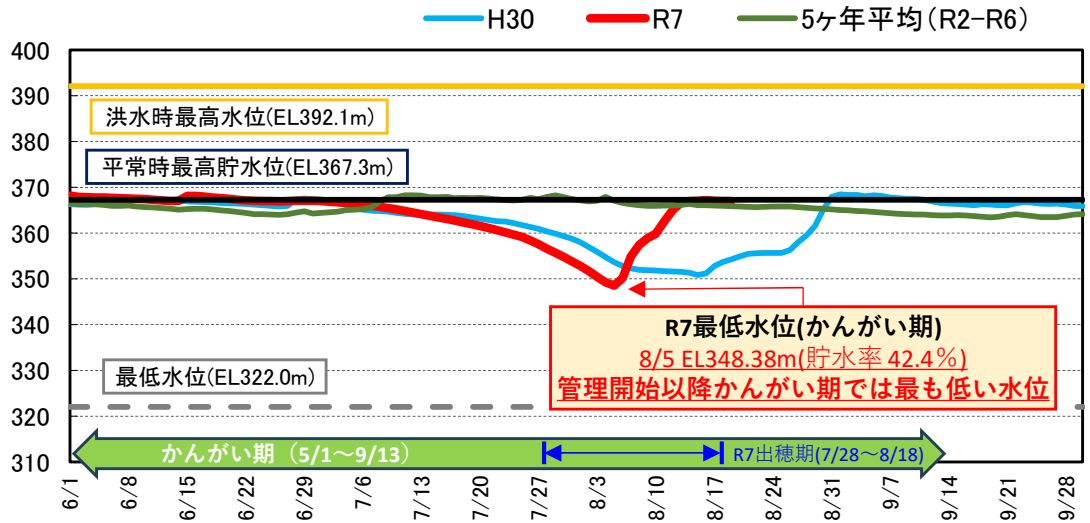
長井ダムからの用水補給区域



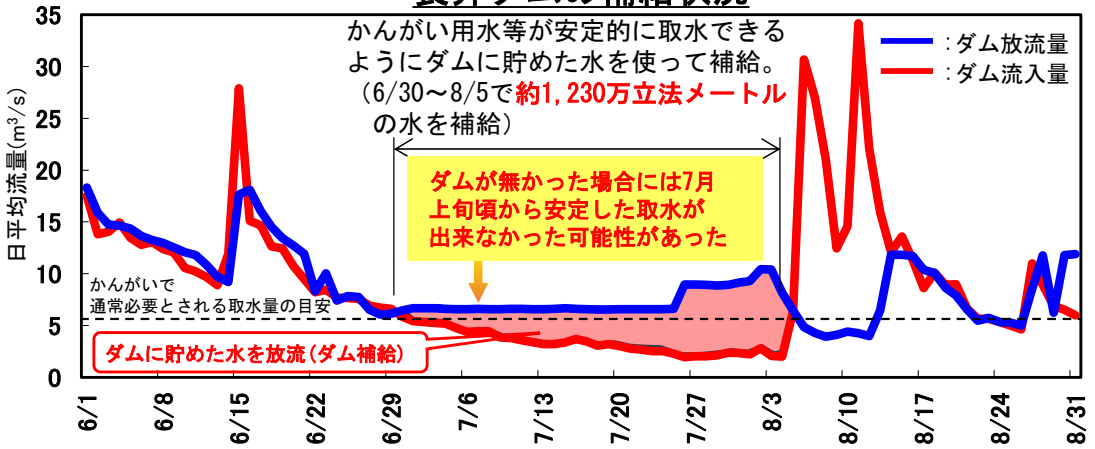
長井ダム流域降雨量（6～7月）



貯水位運用状況（過去の渇水年及び平年値との比較）



長井ダムの補給状況



【地域の声】

・今回の渇水では、早い段階から利水調整連絡会等での情報共有により、番水等十分な対策を取ることができ、管内では混乱や水不足になった所もなく、無事収穫を迎えられる見込みとなった。
今年のような**高温少雨の状況でも、被害なく営農できることは、まさに長井ダムのお陰であると実感しており**、長井ダムの対応に感謝しております。
（野川土地改良区　談）





注)本資料に記載された数値は令和7年9月12日現在の速報値であり、今後変更される場合があります。